

松江南高等学校 1年生 進路だより

新型コロナウイルスの関係で異例のスタートとなった1学期もあとわずかです。例年に比べ短い夏休みですが、普段よりも時間が自由に使える期間です。まとまった時間をうまくつかって進路についても考えてみてください。

夏休み活用のポイント～《生活編》～

○ 一日を規則正しく過ごそう！

毎日の授業がない夏休み。つい夜更かしをしたり、朝遅く起きたり、日中も暑くてだらだらしてしまいがち。休み中も規則正しい生活を心掛けてほしいものです。

○ 日頃できないことをしてみよう！

時間にゆとりのある夏休みは、普段の生活ではなかなかできないことに取り組む絶好のチャンス。夏休みの目標を決め、チャレンジしてみましょう。

夏休み活用のポイント～《学習編》～

夏休みは、1学期できていなかった内容を振り返り、学習内容を定着させるチャンス。4つのポイントを参考に夏休みの学習について考えましょう。

○ しっかりとした学習計画を立てておこう！

学習の内容を確実に理解していくためにも、詰め込みすぎない計画を立てるようにしましょう。週に一日「予備日」を設けるなど、予定通り進まなかった場合に計画の遅れを取り戻すための時間を用意しておくことも大切です。

○ 自学自習の学習習慣を身につけよう！

夏休みこそ学習習慣を身につけるチャンスです。毎日少しずつでも必ず机に向かって欲しいものです。自宅での勉強がなかなか集中できなかつたら、学校に来て勉強してみる、というのも一つの手です。

○ 夏休みの課題を中心に学習しよう！

中学生の頃比べたくさんの課題に、気が滅入ってしまう人もいるかも知れません。しかし、夏休みの課題には、どうしても押さえておいて欲しい学習のポイントが多く含まれており、しっかり取り組みれば、実力UPは間違いありません。計画的に取り組みましょう。

○ 1学期までの内容を復習しよう！

夏季特別授業が終われば、自分の課題となる学習がじっくり行えます。この期間を利用して、1学期にわからなかった内容を、しっかり復習してほしいものです。

次に、進路希望調査にあった質問の内、夏休みを使って考えて欲しいことについて掲載します。高校の進路選択は多くの人にとって人生で初めての大きな分岐点と言っても過言ではないかも知れません。そのように考えると、ますます進路についてどのように考えれば良いのか悩んでしまう人もいると思いますが、人生を自分で切り拓く第一歩です。自分の人生を自分で決める姿勢は、自己判断力・自己決定力を磨く行動の積み重ねで身につきます。判断した経験のない生徒に主体性は身につけません。次の文章を参考に進路について考えてみましょう。

質問1：夢ややりたいことが見つからず、どのように進路について考えれば良いのか分かりません

A. とりあえず行動してみる

夏休みはまとまった時間がとれるため、様々な体験などに参加したり、自分で探究したりできる機会です。RAPの授業で取り組む課題について探究したり、大学のWebオープンキャンパスに参加するなど、様々な活動に取り組むことでやりたいことが見つかるかも知れません。「どのように文理選択をすればよいかわからない」という人も、まずはその先の進路をイメージするために自分のやりたいことや、学びたいことについて考えると良いと思います。

次のポイントを手がかりに考えてみましょう。

①「興味・関心のあること」から……どの方面から学ぶかも大切

まずは、興味・関心のあることから考えてみましょう。このとき、どのような方向からその内容にアプローチしたいのか考えることも大切です。例えば、「環境問題」に興味・関心がある人の場合、

- ・環境問題を解決するための政策や制度に関心がある人と、
- ・環境問題を解決するための科学技術について興味があるひとでは、今後の方向性が変わってきます。

②「得意なこと」「好きな教科」から……自分の強みを活かす前向きな選択を

「得意」「好き」という教科を基準に考える方法もあります。しかし、だからといって、苦手科目から逃げるためだけに文理を選択すると、志望校の選択肢を狭め、後悔する場合もあるので要注意です。マナビジョン(Benesse)でオープンキャンパスを実施している学校の一覧を見ることができます。参考にしてください。オープンキャンパス情報 URL <https://manabi.benesse.ne.jp/daigaku/WebOpenCampusSearch/> Webオープンキャンパス情報 URL <https://manabi.benesse.ne.jp/daigaku/OpenCampusSearch/> 「夢ナビ」で検索すると、大学の講座(高校生向け)が視聴できます。色々な動画を見てみるのも自分の興味・関心を知るきっかけになるかも知れません。

●きみの未来は「違和感」の中にある

『16歳の教科書(講談社)』より大西泰斗さんの文章

最後にもうひと言だけ。どうしても言いたいことがあるんだ。

それは、「違和感にこだわれ」ということです。今現在、みなさんが確固とした将来の夢・希望をもっているならいい。それは幸せなこと。だけど世の中、そんなに恵まれた人ばかりじゃない。多くの人は、自分はどこに進んでいったらいいのか、将来なにをしたらいいのか、わからないんじゃないかな。

sonでもって、周りの大人たちに「自分に向けた職業をめざせ」とか「好きなことを見つけろ」とか、ものすごいことを言われて悩んでいたりもするんじゃないかな。難しいよね、そんなこと。

ただね、手がかりを得ることはできるんだよ。それも日常のなかで。それが「違和感にこだわれ」ということなんだ。

世界は色々な意味で完成されてはいません。だれも異を唱えたことのない不合理がたくさんある。至るところに穴が空いているんだよ。

もしみなさんが「あれ?何でこんなことが見過ごされているんだろう」って思ったとしたら、チャンス到来。その違和感を握りしめてほしいんだ。

政治に違和感を感じたら、素通りしないでその違和感を追求してみる。もしかしたらそれが契機で政治学を専攻することになるのかもしれない。ひょっとしたら将来、政治家や新聞記者になるのかもしれない。

英語の文法ってなんかへんだよな。そういう違和感を感じたら、立ち止まって考えてみる。やがては僕(著者)のように言語学者や英語教師になるのかもしれない。



質問4：どのくらい学力を上げれば志望校に合格できるか知りたい。

A. 『合格ライン』を活用しよう

1年生全員に配布した『合格ライン』(青色の冊子)は、各大学に合格するための目標となる得点や偏差値をまとめたものです。具体的には、2020年度入試で各大学に合格した先輩が1年生の時にベネッセ総合学力テストで取っていた平均得点や平均偏差値が記載されています。大学に合格するための目標値として使用してください。学力テストの結果に一喜一憂するのではなく、自分の課題を見つけそれを克服するための取り組みを始めましょう。この繰り返しが進路目標達成のための近道です。

